

# wish

前橋市手をつなぐ育成会報

ウィッシュ

ホームページアドレス <http://m-teotunagu.moo.jp/>メールアドレス [info@m-teotunagu.moo.jp](mailto:info@m-teotunagu.moo.jp)

発行所

前橋市手をつなぐ育成会

前橋市東上野町459-1

前橋市立前橋特別支援学校内

TEL027-260-3001

発行人 原澤 正光

印刷所 マルエー印刷

TEL 027-232-1684

## 令和元年度 前橋市手をつなぐ育成会総会

5月31日（金）、前橋市総合福祉会館において来賓として山本龍市長様、塩崎政江市教育長様、高橋宏幸市福祉部長様、塚田昌志市社会福祉協議会会長様をお迎えし、本会の総会を開催しました。

多くの理事の皆さんにご出席いただき、昨年度の事業・会計決算・監査報告、今年度の事業計画・会計予算が承認されました。



## 前橋市手をつなぐ育成会 令和元年度 基本方針

本会が支援対象の中心としている知的な障害のある方々は、自分の気持ちを表現し伝えることが苦手という方が少なくありません。そのため、周囲で支援する立場の者が、わかりやすく情報を本人に伝え、また生活のスタイルや方向性等の選択を促しながら、丁寧に本人の意思を引き出し受けとめていく必要があります。そして、そのニーズに合わせて適量の援助を行い、地域の中で共に生きる力を支え育んでいくことこそが、本会の活動の基本となるものであります。

令和の時代を迎え、あらためて障害のある人々を支える法制度を振り返ると、平成の30年間で劇的な変動に驚かされます。平成元年度に制度化されたグループホームの利用者数は昨年12万人を超え、入所施設利用者数とほぼ同規模になり、まさに「施設から地域へ」というスローガンの象徴として定着し、現在も増え続けています。平成15年に始まった支援費制度も「措置から利用契約」という大きな転換点となり、その後、数々の変遷を重ねて、今では障害者総合支援法として確立しました。また国連の「障害者権利条約」批准に向けて、大幅に遅れていた我が国の障害者権利に関する様々な法律も次々と整備され、平成26年ようやく批准、法制度的にはやっと国際標準に追いつく形になりました。「保護から自己決定」という視点も認識が深まり「意志決定支援」が総合支援法に明記され、障害がある方の意志決定を支援し尊重することは、支援者の責務であると位置づけられました。

このように平成の時代の中で、障害のある方をとりまく環境は大きな変革を遂げましたが、現実を見ると実際の社会資源整備における地域間格差は大きく、群馬県内だけを見れば「地域生活支援拠点」等をはじめ、多くの資源がまだ現実のものとして整備されていない現状があります。

このような状況の中、前橋市においては第5期障害者福祉計画および第1期障害児福祉計画に、令和2年度までに整備すべき社会資源の目標値とその確保のための方策を明示し、関係機関との連携・協議を深めて推進していただいておりますが、目標達成に向けて、より現実的なニーズに合致した質の高い資源の整備につなげていくためには、私たち当事者団体が、当事者としての意見を集約し、その思いを行政や事業者に明確に伝え、積極的に協力しながら、共に推進していくことが大切であると考えております。本会としてもその責任を重く受け止め、しっかりとした役割を担っていく決意を持って活動していきます。

また本人活動支援や権利擁護システムの整備、関係者間の連携強化など、本人や家族が社会の中で、安心して生き活きと暮らしていけるような環境を構築していくことも重要な課題です。

障害者基本法の「すべて障害者は、個人の尊厳が重んぜられ、その尊厳にふさわしい生活を保障される権利を有する」というあたりまえの基本理念が、現実のものとなるよう今年度も活動を続けてまいります。

1.収入の部

(単位/円)

項目	平成30年度予算額	平成30年度決算額	備考
繰り越し金	247,612	247,612	前年度より
会費	1,300,000	1,255,040	普通会員483人、賛助会員525人、PTA団体会費29校
補助金等	650,000	650,000	市補助金48万、県育成会委託事業15万、県サポート協会2万
雑収入	1,000	26,205	行事参加費、利子等
特別会計繰入金収入	0	226,800	印刷機代金
計	2,198,612	2,405,657	

2.支出の部

(単位/円)

項目	平成30年度予算額	平成30年度決算額	備考
会報発行	180,000	186,735	年3回(印刷・郵送等)
施設見学会費	120,000	65,070	前教研・特担会研修の貸切バス代
県育成会委託事業	150,000	165,686	料理教室、ゆうあいハイキング
保護者会等活動助成	270,000	251,000	光明園、たんぼ学園、アシスト前橋、まほろ、サニズマーケット、らいず、なかま、第1・2・3作業所、デイスサービスセンター
学校関係活動助成	80,000	80,000	特別支援学級・特別支援学校作品展協賛金
団体組織活動助成	230,000	215,000	前特同窓会、からたち学級、わの会、水泳クラブ、陸上クラブ、フライングディスククラブ
研修費	150,000	149,153	研修会、県大会、関プロ大会の参加費・交通費等
地域生活支援事業	140,000	53,399	おしゃべり会、保護者会交流会、ボウリング大会
会議費	120,000	86,786	事務局員会議等
需用費	120,000	96,477	散歩の駆使用料、封筒、コピー用紙等
通信費	60,000	37,959	切手代、インターネット接続料
交通費	260,000	287,800	事務局員の行動旅費
備品購入費	20,000	238,032	印刷機代、携帯電話代
負担金	288,000	278,000	県育成会、社協、福祉バレード、相談員連協会費
雑費	10,000	10,654	慶弔費等
予備費	612	0	
特別会計繰入金支出	0	66,800	印刷機購入代金30年度返済分
計	2,198,612	2,268,551	

3.差引残高(次年度へ繰り越し) 収入 2,405,657 - 支出 2,268,551 = 差引残高 137,106

1.収入の部

(単位/円)

項目	令和元年度予算額	備考
繰越金	137,106	前年度より
会費	1,300,000	普通、賛助、PTA団体会費
補助金等	680,000	市補助金48万、県育成会委託事業費18万、県サポート協会2万
雑収入	1,000	利子等
計	2,118,106	

2.支出の部

(単位/円)

項目	令和元年度予算額	備考
会報発行	180,000	年3回(印刷・郵送等)
施設見学会費	100,000	前教研・特担会研修の貸切バス代
委託事業費	180,000	ハイキング12万、料理教室3万、親なき後相談会3万
保護者会等活動助成	270,000	申請により助成
学校関係活動助成	80,000	特別支援学級・特別支援学校作品展協賛金
団体組織活動助成	230,000	申請により助成
研修費	130,000	研修会・県大会・関プロ・全国大会の参加費・交通費等
地域生活支援事業	100,000	地域生活勉強会等
会議費	90,000	事務局員会議等
需用費	100,000	封筒、コピー用紙、トナー、インク等
通信費	60,000	切手、インターネット接続料、携帯電話利用料
交通費	260,000	事務局員の行動旅費
備品購入費	10,000	備品、修理費
負担金	280,000	県育成会、社協、福祉バレード
雑費	7,000	慶弔費等
予備費	1,106	
特別会計繰入金支出	40,000	印刷機購入代金令和元年度返済分
計	2,118,106	

1.収入の部

(単位/円)

項目	金額	備考
繰越金	226,559	地域生活支援事業等準備金
本会計繰入金収入	40,000	印刷機購入代金令和元年度返済分
計	266,559	

平成三十年 会計決算報告

令和元年度 会計予算

特別会計 予算

## 令和元年度 事業計画

### (1) 啓発事業

- ① 会報の発行  
年間3～4回を目標に発行  
全会員及び関係機関に寄贈  
各学校・施設の紹介や行政の動向等情報をお伝えします。
- ② 福祉パレード 9/10 (火)  
所属団体として参加、運営協力  
県庁での集会及び前橋市集会、その後パレード等啓発行事等実施
- ③ 市内特別支援学級・特別支援学校作品展覧会への協賛
- ④ インターネットの活用  
ホームページにて本会の紹介等を行います。  
(ホームページアドレス)  
[http:// m-teotunagu.moo.jp/](http://m-teotunagu.moo.jp/)  
(メールアドレス)  
[info@m-teotunagu.moo.jp](mailto:info@m-teotunagu.moo.jp)

### (2) 研修事業

- ① 施設見学会  
前教研特別支援教育部会、特別支援学級担任会、育成会の共催で貸切バスの費用を負担します。
- ② 大会への参加  
・群馬県手をつなぐ育成会大会  
(7/27 藤岡みかほみらい館)  
・全国手をつなぐ育成会連合会 関東甲信越大会  
(11/9 埼玉会館：さいたま市)  
・全国手をつなぐ育成会連合会 全国大会  
(11/23～24 熊本市)
- ③ 保護者研修会への参加・協力  
群馬県手をつなぐ育成会主催 11月頃 開催予定  
(今年度は「ぐんまちゃん安心ノート」をテーマにした研修会)
- ④ 健康増進研修 (自主事業)

### (3) 委託事業

- 県の「レクリエーション活動等推進事業」を受託して行います。  
今年度受託事業  
・ハイキング (ゆうあいハイキング)  
自然とふれあい生きる力を育みながら、仲間や支援者との交流を深めます。  
※障害福祉先進地域の施設見学等と合わせて実施を検討  
(候補地：新潟・長野)  
・料理教室  
・親なき後相談会  
おしゃべり交流会の拡大版として10/8 (火) 実施予定

### (4) 団体等の活動費助成

本人たちの余暇活動 (休日や夜間) や、各施設の保護者会・家族会活動の充実を目的に助成します。

### (5) 関係機関・団体との連携、陳情行動

関係機関、自立支援協議会、施設・作業所保護者会等との連携を強化し、意見交換や課題分析、ニーズの集約などを行い、必要に応じて市に対して意見陳情や政策提言を行ってまいります。

### (6) 地域生活支援事業

- ① 保護者会等交流会  
施設・作業所保護者会、特別支援学校PTA等の交流会を開催します。年3回 (8月・12月・3月) 開催予定
- ② 権利擁護や相談支援体制を整備します。
- ③ 本人部会結成及び活動の支援を行います。
- ④ 群馬県知的障害児者生活サポート協会総合補償制度への加入を促進します。
- ⑤ 地域生活勉強会  
地域生活を支えていくための社会資源の整備や制度づくりなどについて学び、意見交換を行います。
- ⑥ おしゃべり交流会の開催  
前橋市総合福祉会館にて月1回開催 (概ね第2火曜日) テーマを決めて勉強及び自由に話せる時間を持ちます。
- ⑦ 本人レクリエーション (ボウリング大会等)  
県生活サポート協会の支部支援活動助成を申請して実施します。

## 前橋市立前橋特別支援学校の紹介

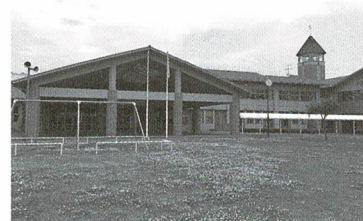
特別支援学校長 武井 暁子

本校は、昭和41年、三俣町に「前橋市立養護学校」として創立しました。その後、平成12年に、校舎を現在の場所 (東上野町) に新築移転しました。開校50周年の節目にあたる平成27年に、校名を「前橋市立前橋特別支援学校」に変更しました。創立以来、54年にわたる長い歴史と伝統を誇る特別支援学校です。

本校には小学部と中学部があります。今年度は、114名の児童生徒が64名の職員とともに学校生活を送っています。

学校教育目標に「一人一人を大切に支援を行い、自分のめあてをもって行動する児童生徒を育成する」ことを掲げ、「明るく元気な子」「みんなと仲良くする子」「自分のことは自分でする子」「最後までがんばる子」の育成を目指し、教職員が一丸となって、様々な教育活動を工夫し展開しています。本校の特色ある教育活動の一例として、「ドレミの時間」という活動があり、毎朝全校で運動に取り組んでいます。小学部には、春と秋に「遊びの週間」があり、春には中庭に「どろんこランド」をつくって、ダイナミックに遊びます。中学部には「作業学習の週間」があり、陶芸班、木工班、手芸班、エコ班、ホチキス班に分かれて、それぞれの作業に取り組んでいます。このような様々な活動に、児童生徒一人一人が生き生きと学び、個性を輝かせています。

これからも、保護者の皆様や地域・関係機関の皆様のご協力をいただきながら、児童生徒一人一人のより良い成長を目指して、さらに教育活動を豊かに充実させていきたいと思っております。よろしくお願いたします。





今年も6月の「おしゃべり交流会」（6/10開催）に、前橋市障害福祉課より鈴木課長さんをはじめ4名の各係責任者の皆様にご出席いただき、市の障害福祉について意見交換をさせていただきました。

予め市に提出していた「質問及び要望書」（下記に要望項目を掲載）の内容について、市障害福祉課としての方針や担当者としての見解、実際の取り組み状況などをご説明いただき、意見交換という例年通りのスタイルで行いました。

来年度まで、と設置期限が明確になっている「地域生活支援拠点」についての要望を今年も1番に挙げました。本年度中には方向性やスタイルが確定してくるものと思われまますので、より具体的な要望をしっかりと示して、本当の意味で「24時間365日」いざというときに安心して託せる拠点整備への期待をお伝えしました。自立支援協議会の中でも専門部会を設けて、本会も含めた当事者団体の意見を聴取しながら進めていただいているとのご回答でしたので、今年度の進展に大いに期待し、継続して具体的な要望を届け続けたいと思います。

その他、下記の課題や要望について現状や今後の見通し等を、それぞれ丁寧にご回答をいただいた訳ですが、財政的に現状維持も厳しい状況の中、新たな予算確保が難しい前提で対応されている実情が感じられる回答が多かったように思います。

最後の質疑の中で、実際に大きな困難を抱えるご家庭からの切なる訴えと課題も挙げられました。その場で明確な解決方向を示していただくことはできませんでしたが、ご家族の生の声を聴いていただき、課題や問題意識をあらためて共有することができたという点で、大変意義深いことであったと感じています。

今後も本会として、本人や家族の要望の集約に一層努力して、市にお届けしていきたいと思しますので、会員のみなさんもこれまで以上に、積極的にご参加くださいますよう、お願いいたします。

お届けした「質問及び要望書」の全文や当日の様子はホームページにて掲載いたします。紙面の都合上、こちらではその抜粋のみご紹介いたします。

1. 本格的な（24時間365日対応の）「地域生活支援拠点」等の早期整備
2. グループホームの充実
3. ヘルパーステーション・サービスステーション等の拡充と利用料補助
4. 障害者虐待防止法・差別解消法の啓発等強化
5. 大震災等非常時における避難等について、障害のある方々等特別に配慮が必要な方々への対応方針を整備、その内容等の周知徹底
6. 健康管理の充実
7. 障害者福祉に従事する関係者の処遇改善



### 令和元年度 前橋市手をつなぐ育成会役員紹介

会 長	原澤 正光	会 計	渡邊 信子
副 会 長	武井 暁子		阿部 尚子
	向井 道子		廣瀬 明美
	前川 知三	事 務 局	岡村 昭義
	関口 純子		高山 由貴
	高橋まさ子		柳澤 美樹
	笠原 秀樹		赤石ヤス子
	中山さち江		都丸 利子
書 記	阿部 進		
	丸山千恵子		
	大島 佳織		

お知らせ	群馬県手をつなぐ育成会大会
	令和元年7月27日(土) 藤岡みかぼみらい館
	福祉パレード
	令和元年9月10日(火) 群馬県庁・前橋市役所
	ひまわり会 ふれあい発表会
	令和元年10月27日(日) 群馬大学附属特別支援学校 体育館
	全国手をつなぐ育成会連合会関東甲信越大会(埼玉大会)
令和元年11月9日(土) 埼玉会館・さいたま市	
群馬県手をつなぐ育成会保護者研修会	
令和元年11月26日(火) 群馬県社会福祉センター	

### 編集後記

暑さ対策をし、水分補給も忘れないで、夏を乗り気っていきましょう。ファイト (赤石)

※前号掲載のおしゃべり交流会に誤りがありました。2020年1月7日 → 2020年1月14日になります。